

## 多様性をテーマにしたオリジナル絵本ができました

市では、2024年8月に絵本「みらいへの つばさを ひろげて」を発行しました。

子どもの頃からのジェンダーや多様性教育はとても重要です。日々、子どもたちと接する保育士や保育教諭の皆さんと一緒に、ジェンダーや多様性について学び、子ども目線で、何に関心があるのかを考えながらストーリーを検討し、萩原なつ子さん（独立行政法人国立女性教育会館理事長）監修のもと、豊岡市出身の絵本作家、羽尻利門さんに絵・文を手掛けていただきました。



▲絵本「みらいへの つばさを ひろげて」の表紙・裏表紙

豊岡のまちを舞台に、コウノトリの親鳥の子育てや幼鳥の巣立ちを観察してきた家族、こども園やビオトープで活動するたくさん子どもたちが登場します。

絵本には、子どもたちに自己理解、他者理解を促し、一人ひとりが、性別にとらわれず、自分らしく未来を切り開く無限の可能性があることなどのメッセージを込めました。そして、巻末には、読み手となる大人に向けて、ジェンダーや多様性への気づきのポイントや読み聞かせのポイントなどの解説を載せています。

また、おたのしみとして、表紙や絵の中に隠し文字（豊岡の6つの地域名）や、隠し絵（玄武岩の玄さん）が描かれていますので、探してみてください。

作成した絵本は、市内学校園や図書館、子育てセンター等に配布し、読み聞かせなどによる子どもとの対話に活用していただきます。

【問合せ 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 TEL21-9004】



▲絵本完成発表会の様子を「とよおか広報YouTube」でご覧ください。

## 義務教育学校「(仮称)竹野学園」の工事安全祈願祭が行われました

【問合せ 教育総務課 TEL23-1117】

2025年度に開設する市内初となる義務教育学校「(仮称)竹野学園」の工事安全祈願祭が工事の請負事業者主催により10月11日に竹野中学校で執り行われました。

市長のほか、地域の代表者、工事関係者らとともに教育委員会も参列し、竹野学園の工事が事故なく終わるよう、そして竹野地域の新たな交流拠点となるよう祈願しました。



▲安全を祈願してあいさつをする関貫市長

校舎内には地域交流スペースを置く予定としており、地域の方が気軽に立ち寄れる開かれた学校をめざします。

低学年棟の完成は来年8月を予定しており、2学期からは、約180人の児童・生徒が、同じ学び舎で学校生活を送ることになります。

## 園でのひととき (福住幼稚園)



みんなでパラバルーン 楽しいね♪

## 子どものいじめや不登校、子育ての悩みや虐待防止などについて 子どもや保護者からの相談に応じています

- 豊岡市こども支援センター
  - ・不登校相談、発達に関わる相談 TEL 24-8303 月～金 9:00～17:00
  - ・子育て家庭相談 TEL 21-9003 月～金 9:00～17:00
- 豊岡市教育相談専用ダイヤル TEL 22-5110 月～金 9:00～17:00
- 豊岡市青少年センター TEL 0120-01-7867 月～金 9:00～17:00
- ◆ 兵庫県豊岡こども家庭センター TEL 22-4314 月～金 9:00～17:45
- ◆ ひょうごっ子悩み相談センター TEL 0120-0-78310 24時間ホットライン
- ◆ 但馬教育事務所「教育相談窓口(面談)」 TEL 24-1520 (要予約) 第2木 13:00～15:00

## 教育長のホットひと息

フィンランドでは、子どもたちが税金の使い道について投票することができます。今年、城崎と港地域でも同様のプロジェクトが実施されました。同地域の10年先のまちづくりについて、その事業計画を城崎中・港中の生徒が聞き、採点し、採択された事業には費用を助成される取組です。難しい内容や初めて聞く言葉もたくさんありましたが、熱心に耳を傾け、悩みながら採点していました。生徒たちがまちづくりに参画する貴重な体験となりました。